

令和元年度 第1回博物館協議会 抄録（web 用）

日 時	令和元年5月21日（火）午前9時25分	
場 所	安城市歴史博物館2階講座室	
出席委員	高山 忠士	会長
	加藤りせ子	副会長
	鈴木 健吾	委員
	荒井 信貴	委員
	市川とし子	委員
	永谷 史朗	委員
	杉山 春記	教育長
	近藤 芳永	生涯学習部長
	近藤 一博	文化振興課長
	片岡 晃	安城市歴史博物館館長
事 務 局	伊藤 基之	学芸係長
	三島 一信	専門主査
	石川 貴信	主査
	田中 里張	主査
	野上真由美	主査
	坂本 晃基	主事
	杉浦由加里	指定管理者
		安祥文化のさと地域運営共同体統括マネージャー
	山口淳一郎	指定管理者
		安祥文化のさと地域運営共同体総括
	早川 博貴	指定管理者
		安祥文化のさと地域運営共同体副総括

閉 会 午前11時40分

<市民憲章昭和>

事務局	皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、定刻までにお集まりいただきまして、ありがとうございます。 それでは、協議会の開催に先立ちまして、安城市民憲章の唱和を行いますので、委員の皆様のご起立をお願いいたします。 （市民憲章唱和） ありがとうございました。ご着席ください。
-----	--

<開会のことば>

事務局	ただいまから、博物館協議会を開催いたします。本協議会は、「安城市歴史博物館の設置および管理に関する条例」第22条により博物館長の諮問機関として設置された機関であり、委員の皆様方にはよりよい博物館としていくために、館の運営について意見を述べていただくためにお集まりいただいております。
-----	---

<辞令交付>

<委員あいさつ>

<職員自己紹介>

<あいさつ>

事務局	それでは「1 あいさつ」に移ります。教育長よりごあいさつを申し上げます。
教育長	(あいさつ) 皆さまおはようございます。令和という新たな時代を迎えちょうど本日で3週間ほど経ちました。少しずつ令和という言葉にも慣れてきたという印象を受けます。本日は本年度第1回目の博物館協議会に大変ご多用の中、委員の皆様方にお集まりいただきましてありがとうございます。 本年度6名の委員の中5名の改選があったということで、委員の皆様には新風を吹き込んでいただけるものと期待しております。ぜひ歴史博物館事業に関わり、多面的な所でご指導ご支援をいただければと思います。 さて、本市では、平成28年度から指定管理者制度を導入いたしました。これによって歴史博物館含め4施設について文化振興課と指定管理者が共同による運営をしてまいりました。そして、3年経過しまして、本年度二期目の更新を迎えました。二期目も引き続き、安祥文化のさと地域運営共同体にお願いすることになりました。今後5年間となりますのでよろしくお願いします。 昨年度の特別展「辻村寿三郎」では観覧者1万2千人を超える多くの方に観覧いただきました。また、特別展・企画展の展示観覧者数が3万人台を維持しておりまして、これも文化振興課と指定管理者との共同運営の効果が出ているものと感じております。 なお、本日その他の部分で説明をさせていただきますが、歴史博物館も平成3年2月にオープンし、約30年弱を経過いたします。老朽化

	等々や不具合も生じてきておりますので、やむなく本年度9月より休館をさせていただきます。 それでは、これから事務局より昨年度の実績と本年度の計画についてご協議いただくために説明をいたします。ぜひ積極的なご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
--	--

<会長・副会長選出>

事務局	次に、新たな任期が始まりますので、会長・副会長の選出をお願いいたします。「安城市歴史博物館の管理及び運営に関する規則」の第19条に「それぞれ委員の互選により定める。」とありますので、皆様からのご推薦をお願いします。 先ず会長の選出からお願いします。どなたか、ご意見はございませんでしょうか。
A委員	長きにわたり館長を勤めていらっしゃる、この館を熟知している高山委員がふさわしいと思います。
事務局	高山委員を推薦するご意見がありました。皆様いかがでしょうか。
委員	(了承)
事務局	それでは高山委員をお願いいたします。 引き続き副会長の選出をお願いします。どなたか、ご意見をお願いいたします。
A委員	安城全体の文化に広い知見を有する加藤委員がふさわしいと思います。
事務局	加藤委員を推薦するご意見がありました。皆様いかがでしょうか。
委員	了承
事務局	それでは加藤委員をお願いいたします。これで会長・副会長が決まりましたので、ご両人は前の席へお移りいただけますでしょうか。 それでは、会長・副会長からひと言ずつごあいさつをいただきたいと思いますので、まず会長をお願いいたします。
会長	大変な役を仰せつかったのですがよろしくお願いします。 先日、東海テレビから平成28年度に現陛下が来館された際のことについて取材を受けました。先ほど委員の皆様の中から安城市歴史博物館はいい博物館だと言っていたいたのですが、その取材を受ける中で、この博物館がもつ魅力が市民の方々に伝わりきれていないと改め

	て感じました。マスコミに取り上げられることが市民の方の耳目を集めるいい機会になるかと思います。せっかく博物館では価値あることをやっているのですから、市民の皆様に広くお伝え出来ればいいと思っています。そんな活動に向けて少しでもお力になればと思いますので今後ともよろしくお願いします。
事務局	ありがとうございました。 つづきまして、副会長、お願いいたします。
副会長	皆さまよろしく申し上げます。
事務局	ありかとうございました。

< 協議事項 >

事務局	それでは「2 協議事項」に移ります。議事の取り回しについては、「安城市歴史博物館の管理及び運営に関する規則」第19条の3に「会長は、会務を総理し、会議の議長を務める」となっておりますので、高山会長にお願いいたします。
会長	それでは協議事項に入ります。「(1) 平成30年度事業報告」について、事務局からの説明をお願いします。

< (1) 平成30年度事業報告 >

事務局	(説明) * 指定管理者担当部分は指定管理者が説明
会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願いします。
B委員	博物館を取り巻く環境全体の質を高めていこうという取り組みはよいと思います。特にアサギマダラですが、昨年私の自宅のキク科の植物の周辺にも飛んでいました。そこで、城址公園にフジバカマを植えているということは非常にいいと思います。アサギマダラが飛来する公園ということは続けていただきたいです。 また、秋葉公園との連携を図っているとのことですが、秋葉公園には数多くの鳥が来ております。また、堀内公園の近くの西鹿乗川ではカワセミなども見かけます。自宅付近でも渡り鳥を見ることがありますので、できれば城址公園でも鳥も集めていただきたいと思います。実のある木を植えていただいくなど長い時間がかかっても推し進めていきたいです。メダカの放流の取組なども非常にいいと思いますので、博物館に来るたびに自然に触れることができる空間を作っ

	ていただけると非常によいのではないかと思います。
指定管理者	歴博周辺でもカワセミや鷺なども見かけますので、今後も環境整備を進めていきたいと思っています。
会長	ありがとうございました。半分ご意見のような質問でしたが、それも含めていかがでしょうか。
C委員	私もこれまで企画展・特別展を拝見させていただいており、特に個人的には「幕府崩壊」は大変気に入っていたのですが、入館者数が目標値を下回っていたのは残念でした。そうした時に、広報PRの回数を見ると如実に少ないということが分かり、やはり関連があるのかと思われます。そこで、広報PRは指定管理からマスコミに情報発信されているのでしょうか？私の勤めている会社にも広報部門がありまして、一般的に広報の仕事は、マスコミと密接なコミュニケーションをとって情報提供を行い、その中でマスコミが紹介したいものを常に出すことで発信の頻度を高めていくというアプローチを取っていて、やはりここを強化していくのがポイントではないかと思うのですが現状はいかがでしょうか？
指定管理者	委員にご指摘いただいたように広報PRの数と入館者数は比例する部分は間違いなくあります。出した情報と回数によって入館者数に差が出ています。指定管理としてできるかぎりアプローチはしていきたいと思っています。展覧会の際には必ずプレスリリースを出しているのですが、それ以外にも個別に報道機関に連絡を入れていきたいです。広報関係につきましては指定管理も今後とも力を入れて行っていく予定です。
会長	ありがとうございました。ほかにご意見はないでしょうか。
D委員	企画展と特別展の違いを教えてください。また、音声ガイドの貸出から来館者がどこから来たか分かるようになっているのですか？ また、新美南吉の展示が常設展にあります。小学校の社会見学や遠足では新美南吉というと生家のある半田市に向かってしまいます。小中学校が社会見学の候補地とするのは、雨でも困らないこと、食事ができることが条件になります。この条件に合えば小学生が立ち寄りやすくなります。南吉の学習のための社会見学であれば、半田市のあとに安城市に立ち寄ってもいいので、市外からの学校を誘致するにはこういった点も検討してはどうでしょうか。

事務局	特別展と企画展の違いについてですが、企画展は収蔵品か市内の町内会や寺社から借用した資料を展示し、運搬料や展示造作の費用をかけず行う展示で、観覧料も無料のものを指します。特別展は市外や県外から貴重な資料を借用し展示するので、運搬料や保険料、展示造作費がかかります。よって有料の展示となっております。その中の一つが昨年度の「辻村寿三郎展」のような買取展となっております。 音声ガイドは、返却もれがないように貸し出しをする際に住所氏名を記入していただいていますので、そこから来館者がどこからご来館されたかを調べています。 常設展の新美南吉のコーナーですが、こちらに収蔵している資料が多くないのであまり展示替えなどができない状況ですが、いただいた意見を参考にさせて今後検討をしていきたいと思ひます。
A委員	安城の文化財展で9千5百人の観覧者数が得られるということはどこにもないだろうと思ひます。館蔵品や市内にある文化財を展示して1万人近くの人が入るとすることは、安城市民の地域への関心の高さがうかがえます。そうした展覧会を捕まえながらうまく学校教育と連携が図れたということはよかったのではないかとと思ひれます。 また、辻村寿三郎の観覧者1万人超えということはすごい数字であると思ひます。ただ、それまでが歴史博物館らしいテーマを取り上げていたのに辻村寿三郎の展示を行うことは、すこし唐突な感じも受けました。ただ、展示を見ると寿三郎の作品の中でも歴史物語に由来する作品を前面に出しており非常に良かったと思ひました。しかし、アピールとして安城でなぜ歴史として辻村寿三郎を取り上げるということをや芸係で説明できるようにしておいた方がよいと思ひます。 安城市歴史博物館というと松平シンポジウムという印象があり、継続的にこなってきています。これは全国的にも知名度が高くなってきているのでこういった形の事業は今後も続けてもらいたいです。 地域の展示をしっかりとやった部分と、寿三郎のように一般の方の注目度が高い展覧会を入れて集客を確保するというバランス感覚を持つことは大切であると思ひます。ただ、今後どのような展覧会を予定していくか大変になるかと思ひます。 PRでは、中日新聞などは新聞社主催や共催の展覧会の告知はやってもらえるがそれ以外の展覧会はなかなか難しいところがあります。 今回の企画展は、朝日新聞で連載記事が掲載されていましたが、今後

	も幅広い広報展開が必要ではないかと思います。 毎週木曜日に各新聞が美術館・博物館の催し物等を取り上げてくれることもありますので、そういった方面にも資料提供を的確にやっていけばよいのではないのでしょうか。 ところで、愛知県の芸文担当記者への資料提供は行っているのでしょうか？文化部記者との懇親会などで新聞記者と親しくなり、地道な歴史系の展示は記者も興味をもってくれると思うので、そういったところともお付き合いしていけば良いのではないのでしょうか。
指定管理者	まだ、やっておりません。
会長	ありがとうございました。
B委員	音声ガイドを非常によく聞かせていただいています。音声ガイドを聞きながら展示を見ていくというのは非常に興味深いです。現在の音声ガイドは資料や展示内容が中心でして、それらが重要なことであるのは分かりますが、それと並行して通常の音声ガイドとは異なり展示の裏話などを話してもらえるようなものを導入することはできませんか？常設展のボランティアガイドのように語りかけるような内容の方がご高齢の方にも魅力的になるのではないのでしょうか。 特別展「安城ゆかりの大名 家康を支えた三河石川一族」が面白かったのですが、その中でも一番興味があったのは、歴博講座の「家康の友石川家成、恋敵康通」でした。歴史上の人物の人間味あふれる部分が古文書などから読み解いていたのは魅力的でした。そこで、音声ガイドでも展示のお勧めのポイントや裏話などを話していただけるとよいのではないかと思います。
事務局	音声ガイドについては、毎回無料で作って提供しています。しかし、展示を作っていく中で余裕がないので、現状の音声ガイド以外に作成するというのは難しいのが現状です。 石川一族展の「恋敵」ですが、外部講師に展示と関連の深いテーマでお話いただきますので、当館学芸員の講座では、講師の講座内容と重複させずにより市民の方に親しみを持っていただけるような内容でお話できるように心がけています。
会長	他によろしいですか。無いようですので、次に移ります。 「（２）令和元年度事業計画（案）」について、事務局からの説明をお願いします。

< (2) 令和元年度事業計画 (案) >

事務局	(説明) * 指定管理者担当部分は指定管理者が説明
会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願いします。
会長	昨年度の展示の中の特別展「幕府崩壊」ですが、明治維新150年の関連のため全国で色々展示を行っており、私もここ以外にも2・3の展示を見ました。安城市歴史博物館の展示は日本史の中の地域史という観点の展示で他館と比較しても遜色がないと思っていたのですが入館者数が思った以上に少なかったことに驚きました。そこで展示のキャッチコピーをもう少し練ると人々の耳目を引くためにはいいのではないかと思います。今年度ですと特別展「1964」でも、全国各地でオリンピックに因んだ展示が行われています。現代史というと、ややもすると懐かしの道具類を並べて懐かしの昭和というところで終わってしまうような感じがするのですが、副題に「東京五輪がもたらしたもの」とついているように、現代史を事柄で語るような展示を期待しています。また、それをうまくキャッチコピーで一般の方に捉えてもらえるように工夫することが重要ではないかと思います。 また、参考で資料に入れていただいた令和2年度の展示の中の特別展「終戦75周年(仮)」についても、現代史はこのところかなり見直しが行われているので、今年度は令和2年度に向けて準備を積み重ねて展示に活かしていただきたいと思います。
会長	他によろしいですか。無いようですので、これをもちまして協議事項を終了いたします。ありがとうございました。

< その他 >

事務局	慎重審議、どうもありがとうございました。 「3 その他」に移ります。
事務局	歴史博物館大規模改修について説明をいたします。 (歴史博物館大規模改修について)
A委員	令和2年度は大規模な展覧会を控えているので、カーペットや壁紙の接着剤など等を作品に影響が出ないように充分注意していただきたいと思います。

事務局	展示環境については引き続き確認しつつ作業を進めていきたいです。
会長	企画展示室の床はカーペットのままですか？若冲展の際に展示室内で嘔吐された観覧者がいて、その対応で指定管理者が清掃して早急にカーペットを張り替えていましたが、その頃からカーペットではなく他の床材でもいいのではないかと考えておりました。
事務局	改修ではこのままカーペットでいく予定です。
会長	もしカーペットあれば、張替えのできるように予備を確保するようにしてください。
事務局	予備はとっておきます。これまでは、施設の管理と事業とが別々の係で仕事を行っていましたが、指定管理の導入によって、施設管理も含めて学芸係が掌握しないといけなくなったことで、ある意味ではいい形にはなったかと思われます。今後は施設管理についての検討についても学芸係で行うようになりますので、今後委員の皆様のご意見をいただき参考にさせていただきます。
B 委員	エントランスで講座やイベントを行う際に、常設展示室の出口の通路や2階から立ち見をすることがあります。非常に多くの方が2階に集まるとガラスは非常に危険ですので、通路のガラスを強化ガラスにすることはできますでしょうか？
事務局	通路で講座等を聴くということがそもそも危ないのであってはならないと思われます。今後は原則通路で立ち止まって聞くことは安全面としては不可という方向に行かねばならないといけないと思います。
会長	消防法の関連もあるので難しいと思います。
事務局	今後は混雑して人があふれてしまうようなならないように管理的な部分でコントロールしていかなければならないと思います。
事務局	(次回協議会の連絡)

<閉会のことば>

事務局	以上を持ちまして全ての予定が終了しました。最後に委員の皆様から何かございませんでしょうか。
事務局	無いようですので、閉会のことばを生涯学習部長から申しあげます。

生涯学習 部長	約２時間、長期間にわたり活発なご審議をいただきましてありがとうございました。貴重なご意見をいただきまして安城市の歴史博物館が市民のみなさまにとりまして、来て、見て、楽しい施設になりますように、いただきましたご意見を参考にさせていただければありがたいと思います。行政と再度指定管理者に選定された安祥文化のさと地域運営共同体と共同運営をするというハイブリットな体制の魅力を管理の上でも出していければと思います。 また、改修の説明をさせていただきました。半年間の休館となります。この期間は開館３０周年に向けての力を蓄えさせていただく期間に有効活用していきたいと思いますのでご理解いただければと思います。本日は本当に貴重なご意見をありがとうございました。いただいた意見を参考に今後も管理・運営を取り組んでいきますのでよろしくお願いします。
事務局	ありがとうございました。この後、開催中の企画展「安城の今昔 火消しまいる」のご案内をいたします。お時間の許される委員の方は、企画展示室前にお集まりください。